

市長選挙に周東三和子さんを擁立します

2022年5月 19 日

豊かな会 粕江をつくる市民の会

2018年7月に選ばれた松原市長は、当選後初めての所信表明で「粕江のまちは、市民のみなさん自らがまちづくりを進めているのだと自負できるようシビックプライドを醸成させてまいります」と言っていたにも関わらず、2020年11月に「市民センターを改修し、新図書館を新たに整備します」と発表しました。

これは2020年8月に策定された「粕江市民センター改修等基本方針」(以下「基本方針」)を前提としていますが、市と協定を結んだ「市民センターを考える市民の会」によってまとめられ、市もこれを尊重すると述べてきた「市民提案書」や、同年3月の市民アンケートによる市民の要望とは大きくかけ離れていました。

そのため9月の市主催「説明会」でも市民から多くの疑問や意見が出され、「基本方針」による新図書館は「狭い」「本が少ない」がほとんど解消されず、不便で市民要望を反映したものとはいえ、「広報こまえ」に「基本方針」を発表したことは、市民とともに作り上げていくという「市民参加と市民協働」の精神に反するものでした。

豊かな会は、この「基本方針」をいったん保留し、市民との意見交換をさらに重ねることを市長に求め、新たにつくられた「ちょっと待って図書館移転 連絡会こまえ」にも連帯して運動し、4,200筆を超える署名を松原市長に提出しましたが、市長は応えず、構想や設計に関わる予算を策定、執行しています。

また、長引くコロナ禍で生活に困窮している市民の暮らしを支えるため、国保税値上げ中止、ひとり親家庭へ家賃補助、大学生へ生活・学業応援給付金などの予算組替え提案を受け入れません。

こうした現市政を市民本位に切り替え、暮らしを支える施策に全力を尽くす市政を実現するため、市内のいくつかの団体と懇談を重ね、市長選挙に候補者を立てることを模索してまいりました。

今日の臨時総会で、豊かな会が確認団体となって周東三和子さんを候補者に立てて市長選挙をたたかうことを決めました。

周東さんは、新日本婦人の会粕江支部長ですが、豊かな会、ちょっと待って連絡会の中心メンバーであり、暮らし、平和、民主主義を守り発展させるために努力している方です。広く市民のみなさんと手を携えて、市政の転換をはかろうと立候補を決意してくれました。

今日発表した「選挙公約」はみなさんのご意見も頂戴してさらに充実させるつもりでございます。

粕江市政を市民本位に切り替えるため、多くの市民のみなさんのご支援を心からお願い申し上げます。